

事業報告書

令和元年度

社会福祉法人 柏寿会
福光園グループホーム

フクちゃんハウス

事業所番号 0370900573

〒 021-0901
一関市真柴字岩ノ沢91-19
TEL 0191-31-2500
FAX 0191-31-2501

1 沿革

社会福祉法人柏寿会が平成15年度施設整備事業により、利用定員9名・常勤職員9名の体制で事業を開始。施設併設型として、特別養護老人ホーム福光園アネックス・デイサービス・福光園居宅介護支援センター・福光園在宅介護支援センターが併設されている。

2 事業の目的

日常生活を通じて、入居者個々の機能を活かし、その人らしさを引出し、気づきの大切さを共有し、共同生活としての意図を理解しながら安心して暮らせる場の提供を支援する。思いの尊重を生活支援に取り入れ、身体表現へと繋げられるよう支援する。思いやり、感謝、笑顔を大切に相互の協力者として支援し、家族、地域の方々と共に支え合い、明るい生活の場を築いていく。

3 本年度の事業実施内容

- 入居者個々の思い、気づきを大切にし、その人らしく生活して頂く為のプロセスを構築すると共に、機能活用から、自信、喜びを身体表現へと繋げる支援と共に、入居者個々の思いから、その人らしさを大切に安心した生活が送れるよう支援する。又、家族、地域の方々と協力、助け合いから、人と人との繋がり、関係性を大切にすると共に、生活、精神的安定が図れるようケアの提供に努める。
- ・入居者個々の分析とニーズを把握し、個別ケア計画を作成し実施。※毎月評価行っている。
 - ・提供したサービスの評価・見直しを家族、利用者同席の基実施し今後のサービスへの同意を求めている。
 - ・運営推進会議の実施。(2ヶ月毎、年6回実施)※行政、地域、家族、入居者、職員での構成。
 - ・日々の個人の健康チェック・投薬・通院等による健康管理の実施。
 - ・入居者家族への報告・連絡・相談の実施。
 - ・毎月(フクちゃんハウスたより)発行にあたり、入居者の生活状況についての報告。
 - ・家族へ面会・外出の協力依頼。 ※一時の大切な時間を思い出のストーリーとしている。
 - ・入居者の金銭管理を帳簿にて管理し、各家族への報告。(毎月の帳簿写し、領収証の郵送)
 - ・サービス情報の公表制度の実施。(本年度は書類提出のみ)
 - ・外部研修参加。ホーム内研修、自己研鑽、委員会研修、職員会議の実施。
 - ・避難訓練実施。 年1回消防署の立ち合い実施。
 - ・職員会議で入居者個々の現状報告・確認とサービスの質の向上に向けた取り組み方法の実施。
 - ・かかりつけ医への相談実施。
 - ・実習受け入れ実施。
 - ・入居者誕生会の実施。(個別支援・外食等) ※余暇活動にて動物見物・ドライブ実施。
 - ・家族協賛による敬老会。(地域の方の参加)
 - ・家族様との交流会の実施。(ペコニア館見物、芋の子会)
 - ・外部評価受査実施。※昨年度受査の為、今年度はなし。2年に1回実施。
 - ・ボランティアによる慰問。※アンサンブル玲3回慰問、虹の会。
 - ・雑巾寄贈。(一関市立南小学校へ) 余暇活動の一環としての取り組み。
 - ・地域行事への参加。 ※真滝13、14民区運動会挨拶のみ実施。
 - ・こども園との交流会。(龍澤寺こども園) ※今年度は予定が合わず中止。

4 目標に対する評価

- ① 空床を最小限にとどめ、年間稼働率98%以上を目指す。

※ 体調管理の重要性、緊急時の対応、入退院を通じて医師、家族との連携を密にする。

→ 生活する上で本人としての生活障害に気づく事を常に日々観察してきました。個々の入居者様の疾患等も把握し、状態を瞬時に見極めその日の勤務者でカンファレンスを行い対応してきました。家族、医師への相談から情報の共有に努め、入居者様個々が不安のないよう支援して来ました。入院に対する疾病も把握出来ている為、早期に対応出来ており早期退院に繋げてきました。今後も相互の情報の共有化を図り支援していく事とします。目標に及びませんでしたが、少しでも近づける努力を重ね入居者様の生活支援で、些細な事にでも大きな視点を置きながら今後も支援して行く事とします。年間稼働率96.7%でした。

- ② 「ここにいて良かった」と思ってもらえるように第二の我が家として生活して頂く。(利用者としての声・毎日)

※笑顔、助け合い、不安のない楽しい生活支援。個別支援(趣味活動・毎日)外出(誕生日、ドライブ・年2回)

→ 共同生活とは思えない程笑顔が絶えないホームとなっておりますお互いが支えあっています。職員の姿を常に見ている為、声掛けも自発的(今、来るから待ってましよう等)に行ってくれたり、安心する為の一つのアプローチとして行ってくれています。生活の中で出来る事(機能低下防止の為)を常に取り入れながらその人らしく自分の役割となっています。個別に出掛ける事も行っており、季節を感じて頂く事で自分としての今をどう振り返るかという事も考えながら支援してきました。視野を広く持つ事で周囲に対する気づきも多くなりました。1日の終わりがここでの生活が楽しいと言って頂ける事が多く聞かれています。今後も継続支援生活安定、機能維持に繋げていく事とします。※誰もが安心、楽しいと思える暖かいホーム作りを継続していきます。

- ③ 家族と過ごす事で、お互いの安心感を作り上げていく。※家族を交えて年3回行事を行う

→ 家族交流としての行事として、ベコニア館、敬老会、芋の子会を計画し多数の家族様の参加を得ました。

回数を重ねる毎に家族同士の連携や、信頼関係が構築されお互いに支え合い、雰囲気大切にしている。

家族に会う事の大切から不安が解消されたり、会いたかったと言う声が聞かれたり、家族様としてとても嬉しさが滲み出てきていた。一時の時間が家族と過ごす事で家族薬となり生活に大きな安心感が取り戻せます。

又、来るねが明日からの生活の力になっていました。

5 まとめ

事業開始16年が経過しました。母体施設・在宅事業所等の御協力のもと、過ごして参りました。

家庭的な環境の中で、入居者一人ひとりの特性、思いをサポートし、出来るだけ本人らしい生活に近い状況で生活支援を行って参りました。

本年度、1名の入居者様の入れ替わりがありました。体調不良から入退院を繰り返されGHでの生活が困難となり退去に至りました。入退院を繰り返されている方もおり、又、入居まで時間を要する事もあり空室を作ってしまう。早めの対応で回復までの時間が早くホームへ戻ってこれていました。※医師よりも早めの対応で良いと話されています。今年度より入居者様の生活目標を定め「安心の毎日」「楽しい生活」を送りたいを掲げ日々の生活の中でどう感じているか、それをどういう風に自身に結びつけていくかという事を考えながら生活して頂いています。お互いの気遣いや、安心感に繋げる為に良きパートナーとなり手と手を結べる距離になっています。生活がここで良かったと言える環境と、職員との関わりの中で安心と信頼と支えが交差出来るよう支援しながら楽しい笑顔が溢れる生活となっています。家族様との連携も保たれ、数多くの協力を頂きました。共に支える環境が入居者個々の生活安定にも繋がっていると考えます。今後も更なる協力体制を確立し相互の共有を図って行きたいと思えます。今後も、職員のケアに対する意識、知識を高め、入居者様の第2の我が家として支え合いながらその人らしい生活を大切に支援して参ります。

行事報告

年 月 日	行 事 内 容
平成 31 年 4 月 9～10日	福光園デイサービス慰問見物
平成 31 年 4 月 22～23日	お花見見物
令和 元年 5 月 9 日	第1回運営推進会議 参加者13名
令和 元年 5 月 12 日	母の日
令和 元年 6 月 2 日	ペコニア館見物(家族交流) 会食あり。 家族参加者4名
令和 元年 6 月 21 日	誕生会
令和 元年 6 月 28 日	アンサンブル玲(慰問) 慰問者4名
令和 元年 7 月 5 日	誕生会予定であったが、入院中の為出来ず退院後行う事とする。7/28実施している。
令和 元年 7 月 5 日	避難訓練(昼間想定)
令和 元年 7 月 11 日	第2回運営推進会議 参加者17名
令和 元年 8 月 3 日	真柴三社連子供御輿見物 ※ フクちゃんハウス敷地内にて
令和 元年 8 月 3 日	にじの会(慰問) 踊り、歌 慰問者4名
令和 元年 8 月 15 日	誕生会
令和 元年 8 月 28 日	夜間非常招集訓練 夜間避難訓練
令和 元年 9 月 1 日	真滝13、14民区運動会 ※参加出来ず、前日挨拶のみ訪問
令和 元年 9 月 4 日	誕生会

年 月 日	行 事 内 容
令和 元 年 9 月 11 日	アンサンブル玲(慰問) 慰問者4名
令和 元 年 9 月 12 日	第3回運営推進会議 参加者16名
令和 元 年 9 月 15 日	フクちゃんハウス敬老を祝う会(ヴェルパークにて) ※ 参加者 地域3名、家族9名
令和 元 年 9 月 24 日	総合避難訓練(自動火災通報、消火訓練)※消防署、文林商会立ち会いの基
令和 元 年 10 月 2 日	雑巾寄贈 一関市立南小学校 100枚 入居者4名 職員2名 岩手日日取材
令和 元 年 10 月 6 日	誕生会
令和 元 年 11 月 3 日	誕生会
令和 元 年 11 月 7 日	誕生会
令和 元 年 11 月 14 日	第4回運営推進会議 参加者13名
令和 元 年 11 月 17 日	ワックス掛け
令和 元 年 11 月 24 日	芋の子会(家族交流) 慰問(にじの会) 家族参加者8名
令和 元 年 12 月 23 日	クリスマス会
令和 2 年 1 月 1 日	お正月
令和 2 年 1 月 9 日	第5回運営推進会議 参加者14名
令和 2 年 2 月 2 日	誕生会
令和 2 年 2 月 3 日	節分 ※恵方巻
令和 2 年 3 月 3 日	ひな祭り
令和 2 年 3 月 12 日	第6回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止となる。
令和 2 年 3 月 23 日	誕生会
令和 2 年 3 月 30 日	避難訓練(夜間想定)

職員研修報告

(外 部)

年 月 日	研 修 会 名 等
令和 元 年 6 月 17 日	岩手県認知症GH協会総会、講演会(アイーナ)
令和 元 年 6 月 25 日	平成31年度介護サービス事業所等集団指導会(一関保健センター)
令和 元 年 6 月 26~27日	防火管理者講習会(ベリーノホテル一関)
令和 元 年 7 月 23 日	日本認知症GH協会研修会(アイーナ)
令和 元 年 7 月 29 日	いわて地域密着型サービス協会研修会(アイーナ)
令和 元 年 8 月 20 日	いわて地域密着型サービス協会中堅職員研修会(アイーナ)
令和 元 年 8 月 23 日	両磐ブロック令和元年度第1回定例会並びに第一回いわて地域密着型サービス協会両磐ブロック定例会(IDーム)
令和 元 年 10 月 12~13日	日本認知症GH協会全国大会(青森県)
令和 元 年 11 月 14 日	認知症セミナー(前沢ふれあいセンター)
令和 元 年 11 月 28 日	いわて地域密着型サービス協会実践報告会(アイーナ)

(内 部)

グループホーム内において以下のような勉強会を行っている

◎ 各マニュアル一覧の見直しについて

- | | |
|------------|-------------|
| ・ 食事マニュアル | ・ 感染症マニュアル |
| ・ 入浴マニュアル | ・ 事故対策マニュアル |
| ・ 排泄マニュアル | ・ 接遇マニュアル |
| ・ 食中毒マニュアル | ・ 緊急マニュアル |

◎ 身体拘束廃止委員会 年4回研修実施。※運営推進会議の中で2回研修実施

◎ ケアカンファレンス実施(家族様を交えて・・・年2～3回)

◎ ケアプラン個人月別評価について(毎月職員会議時実施)

◎ 認知症ケアに関わる勉強会(職員会議時実施)

◎ 研修委員会研修(5回実施)

◎ 保健委員会研修(5回実施)

◎ 保健委員会として ※排便コントロール維持に対する取り組み

◎ 自己研鑽(毎月) ※職員会議を利用し実施

◎ やすらぎの家との合同委員会(事故、ヒヤリハット・・・年4回)

(内部研修)

- 1 柏寿会理念、事業所基本理念、はしか、洞察力について 4/24
- 2 判断力、記憶障害、認知症の人と生活環境、コミュニケーションについて 5/24
- 3 介護保険法、BPSD、介護の基本視点、ひと事の重さ、熱中症について 6/25
- 4 高齢者虐待防止法、GHIにおける法令遵守、身体を支える水分、電解質、自己肯定感、コミュニケーションについて 7/27
- 5 脳梗塞、BPSDの予防と治療、行動・心理症状、心のゆとりについて 8/27
- 6 浮腫、気持ちの切り替え、認知症の主な原因疾患は4つについて 9/24
- 7 RSウイルス感染症、自分を信じる事、錯覚は誰にも出現する、記憶障害によってBPSDが発症する過程、介護は「なぜ」から始まるについて 10/24

- 8 声掛けはポジティブに、認知症の中核症状、BPSD、協調性、笑顔がもたらす凄い効果について 11/25
- 9 健康の為水を飲もう、深部体温、認知症の重症度、笑顔の10ヶ条、インフルエンザについて 12/27
- 10 チームワーク、思考力、認知症の可能性、身体拘束に伴う弊害について 1/24
- 11 腰痛予防、認知症薬一覧、アルツハイマー型認知症の重症度と症状、咳エチケット、新型コロナウイルス、免疫力について 2/24
- 12 プロフェッショナル、ケアの共有に必要な情報、介護記録の重要性、思想感について 3/27

(訪問)

- 1 介護相談員 6/11 1名

(法人内研修、会議)

- 1 法人全体会議 4/22、10/29
- 2 苦情解決委員会 5/22、8/21、11/26、2/21
- 3 講演会 人生100年時代 4/22
- 4 元気ネットワーク研修会 9/22 1名
- 5 施設を創る施設長・管理者そしてケアの取り組み 10/29
- 6 普通救急救命講習会 2/26 1名

(研修受け入れ)

令和 元 年 12 月 2~4 日	令和元年度一関市役所新採用職員研修 各日2名ずつ
令和 元 年 12 月 10 日	一関職業訓練協会介護サービス科実習 1名
令和 2 年 1 月 9 日	社会福祉士実習 1名

利用者動向

利用者	性別	年齢	要介護度		入居日	通院	薬費	理容	外出 外泊	面会 者数	退去日	備考
			更新前	更新後								
A・S	女	72	V	V	H. 24 2 15	43	2	5	13	100		
K・S	女	87	IV	IV	H. 27 5 22	11		5	4	22		
S・U	女	79	III	IV	H. 27 11 17	29	4	4	23	42		
K・S	女	86	III	IV	H. 28 10 29	34	4	2	19	41		
A・Y	女	88	IV	IV	H. 29 9 29	14	8	3	17	56		
T・S	女	93	IV	IV	H. 30 1 5	29		4	23	45		
H・C	女	89	IV	IV	H. 30 8 15	21		5	7	87		
Y・S	女	82	II	II	H. 30 9 28	17	3	5	14	30		
K・A	女	85	III	III	R. 2 1 7	2				6		
T・A	女	81	V	V	H. 27 10 15	10		2	4	16	R 1 12 28	入院の為
平均		84.6	3.8	3.8		計 210	21	35	124	445		

↑ ↑ ↑ ↑ ※ 職員・家族様が対応した件数

月別利用者人数

	平成31年	令和元年									令和2年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入居者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	
延べ人数	270	279	270	264	279	270	264	247	256	240	257	279	3175	